

スキルアップ研修会報告

1. 栄養士会と栄養士の役割

栄養士会は、日々、府民への栄養・食生活に関する知識や技術を啓発、提供および健康維持増進、疾病の重症化予防、公衆衛生の向上に資する事業を行っている。

今後は栄養ケアを提供する地域密着型の栄養士の拠点となる栄養ケア・ステーションにも注力していきたい方針である。また、栄養士会の重要課題の一つとして挙げられるのは卒後教育の重要性である。生涯教育制度をさらに充実させる必要がある。(特定分野制度や専門管理栄養士認定制度)

今後予想される管理栄養士・栄養士の社会的役割とは、管理栄養士による治療効果のエビデンス構築と、給食の委託化を見据えて顧客満足、安心・安全を念頭に置いた経済効果が求められるであろう。

2. 食品表示について

食品表示法とは食品衛生法、JAS法および健康増進法のうち食品表示に関わる規定を一元化

した2015年4月1日に施行された法律である。2020年3月31日までが暫定期間となっている。

アレルギー物質に対する表示は原材料の表記はあるが、判断に迷うことがあれば製造業者・販売者に問い合わせる。管理栄養士・栄養士だからこそ「もしかしたら」と立ち止まって考える思考とアレルゲン物質を見分ける力が求められる。栄養機能食品や機能性食品などのいわゆる健康食品は、消費者が正しく適切に選択・利用できるよう支援する必要がある。

3. 各職域部会からのアドバイス

・将来のキャリアアップのために、常にスキルアップして欲しい

・栄養士が1人の職場では孤立しがちであるので人脈づくりや横の繋がりは財産となる

4. その他

ワールドカフェの手法を用いて日頃抱えている業務での疑問や悩みを話し合った。

(文責 病院)

「スキルアップ研修会」に参加して

福祉部会 石田 茜
管理栄養士・栄養士の免許取得者は全国で100万人を超えているそうですが、栄養士会の会員数が5万人程と大変少ない事に驚きました。実際私自身も専門学校を卒業後6年間は入会しておらず、昨年の転職をきっかけに入会しました。今回の研修会で食品表示についての研修も行われましたが、国家試験の勉強をしていた時と法律や制度が変わっており、日々の情報収集や勉強は必要だと感じました。毎日勤務をしても自分が知っている知識と異なる事も多く、またネット環境が普及した現代では間違った情報が正しい知識として出回ってしまう事も少なくありません。栄養士会の研修会では、最新の情報収集だけでなく自身のスキルアップとして他部会の研修にも参加可能なので今後も積極的に参加していきたいと感じました。栄養士として専門的な研修はもちろん、待遇やマナー等社会人として基本的な研修も多く開催して頂けると、もっと社会全体に影響力のある職種になるのではと思いました。

また、各部会の理事の方々のお話を聞く事ができ、様々な方面で栄養士が活躍している事や部会ごとの考え方や熱意を感じる事が出来ました。これからもっと栄養士が世の中に必要とされ、広い分野で活躍できる職業となれば良いと思いました。

ワールドカフェでは、他の現場で勤務されている栄養士の方々と日々の業務での悩みや困った事を話し合いました。共有の悩みも多く「自分だけじゃない」と感じられた事がとても励みになりました。普段は一人現場で仕事をしているので、疑問や不安を抱えていても中々相談できない事も多いですが、「私はこうしている」や「こんな考え方もあるよ」など、沢山アドバイスを頂きとても刺激になりました。また、各テーブルに理事の方も同席して下さっていたので、同じような悩みでも部会ごとに見解が違うのも参考になりました。今回の研修会のように話が出来る場がもっと増えれば良いと感じました。研修で学んだ事、感じた事を今後の業務で活かされるように頑張ります。

